

春光まちづくり推進協議会 会議録 令和5年度 第4回

会議概要	
日時	令和6年2月26日(月曜日) 午後6時00分から午後7時30分まで
場所	旭川市北部住民センター 2階 大集会室
出席者	<p>委員（12名，正副会長以外は50音順）</p> <p>安齋会長，石塚委員，市川委員，上野委員，加納委員，工藤委員， 小林委員，清水委員，高橋委員，林（綾）委員，林(知)委員，山形委員 （欠席者 上山副会長，高村委員，両瀬委員）</p> <p>事務局</p> <p>旭川市市民生活部      林部長 地域活動推進課      小松主幹，谷口補佐，木下主査，浅沼 北部住民センター      高橋，松川</p>
会議の公開・ 非公開	公開
傍聴者の数	0名
会議資料	<p>・ 次第</p> <p>・ 春光まちづくり推進プログラムの改訂に係る調査票</p> <p>事前配布資料</p> <p>・ 資料1 包括型まちづくり事業への移行イメージ(仮)</p> <p>・ 資料2 春光まちづくり推進プログラム</p>

※「春光まちづくり推進協議会」について，本文では「まち協」と略する。

## 議事の内容

### 1 開会

開会し、欠席委員の報告と当日配付資料及び事前配布資料持参の確認が行われた。

### 2 検討事項

#### (1) 地域まちづくり推進協議会の在り方について

【会長】

このことについて、事務局よりご説明願います。

【事務局】

まち協の現状と将来像の検討等について説明。

【会長】

協議会運営を地域で行うこと、参加者を地域で決定できることなどの説明を受けました。  
このことについて、何かご質問ありませんか。

特にないようですので、まち協の在り方についての説明を受けたこととします。

なお、このことについてのご意見提出表については、3月7日までに旭川市へ提出をお願いします。

#### (2) 春光地域のまちづくりの事業促進について

ア 令和5年度事業の総括について

【会長】

今年度は、「春光子どもの居場所づくり事業」、「春光スノーコミュニケーション事業」と「春光歴史探訪図事業」の3事業を実施していますので、順次報告を受けたいと思います。

はじめに、春光子どもの居場所づくり事業、その後、春光スノコミ事業、春光歴史探訪図事業について、関係委員から報告をお願いします。

【委員】

子供の居場所づくり事業は、8月1日に春光住民児童センターにおいて、水鉄砲バトルと子ども縁日を実施しました。参加者が多く、好評だったので、来年度も同様な内容でイベントを実施したいと考えています。

今後は、子どもの代表者数人を、実行委員として参加していただく方法ことを検討していきます。

【委員】

春光スノコミ事業は、昨年度実施した除雪に関するアンケート調査結果を地域住民の方にお知らせするため、ライナー紙に織り込んで配付しました。

また、スノコミフェスを2月11日に開催しました。今年度は、北鎮小学校を会場に、雪積み選手権、宝探しや雪合戦等を実施し、子供の参加者は40名でした。楽しんでもらえたのではと思っています。

【委員】

春光の歴史を学ぼうということで、2月23日に北部住民センターを会場に、春光歴史探訪事業を開催しました。郷土史研究家など3名の方を講師に迎え、春光の由来や住居表示及び歴史的建物等の知見を広げました。

参加者は、15名でした。来年度以降、今回学んだ情報を集約し、探訪図を発行していきたいと思っています。

【会長】

ただ今、各事業についてご報告がありました。このことについて、何かご質問等がありますか。なければ、説明を受けたこととします。

#### イ 包括型まちづくり事業への移行について

【会長】

次に、包括型まちづくり事業への移行について、事務局より説明をお願いします。

【事務局】

資料1に基づき、説明。

【会長】

来年度以降、連絡会を新設し、連絡会が補助金受給団体となること、連絡会で、活動計画や各事業間の予算調整、補助金申請手続きを行うとのことですが、ご質問等ありませんか。

【委員】

各事業の開始時期が異なる場合は、いつの時点で全事業の補助金申請を行うことになるのでしょうか。

【事務局】

その年度が一番早く活動する実行委員会に間に合うように、一括で申請していただきます。連絡会が補助金の受給団体となりますが、連絡会が勝手に補助金の金額を決定するわけではなく、原則、事前に割り振られた金額が各実行委員会へ配分されることとなります。

来年度は、子どもの居場所づくり事業が4月頃から活動する予定と伺っていますので、4月上旬には、補助金申請することになると思われます。

【委員】

冒頭で、まち協の在り方について説明があったが、そこで出ていた「新たな地域組織」と「連絡会」はどういった関係なのでしょう。

【事務局】

連絡会は、包括型まちづくり補助金を受給するために必要となる団体で、まち協と各実行委員会を繋ぐ役割です。それに対して、新たな地域組織の話は、まち協に代わる組織を検討するものであるので、全く別物となります。

【委員】

年度当初、計画していた事業が、実施できなくなった場合は、どうなりますか。

【事務局】

コロナ禍では、感染拡大防止ということで、事業を取りやめる実行委員会が多々ありましたが、現在であれば、それ相応の正当な理由が必要になると思われます。

当初の計画に若干の変更が生じることはやむを得ません。ただ、当初の活動計画に全く記載されていない内容を行うとした際は、変更申請が必要となる場合があります。

【会長】

そのほか、ご意見等がないようですので、来年度より、包括型まちづくり事業へ移行することとします。

### (3) 春光まちづくり推進プログラムについて

【会長】

事務局より説明をお願いします。

【事務局】

資料2に基づき説明。

プログラム改訂に係る調査票については、3月7日までに、郵送またはFAXにて、地域活動推進課へ提出をお願いいたします。

【会長】

推進プログラムについて、ご質問等ありませんか。

特にないようですので説明を受けたこととします。

## 3 その他

【会長】

第5回春光まち協会議の開催日程ですが、令和6年3月22日（金）午後6時から北部住民センター1階研修室とします。その他、ないのでこれにて閉会します。

## 4 閉会